

1年生 単元名「 たぬきの糸車 」

受容と共感で笑顔あふれる学校づくり
～ちがいを豊かさとして ともに言葉で学び続ける子の育成～

○研究テーマに迫るための日常の手立て（成果・課題）

・話し方・聞き方の基礎作り

授業内での発表や、モジュールの時間などで行うリリーススピーチなど、様々な活動の中で話型を示した。また、聞き手としてどんなことが大切かを確認し、聞く姿勢を指導している

成果：話型や反応の例を具体的に示すことで、安心して全体の前で話すことができるようになった。

また、考え途中の場合の発表の仕方も提示することで、集団の前で話すハードルが下がった。

課題：課題としては、自分の考えをただ発表するだけの姿が多く見られることが挙げられる。小さなつばやきの中では、他の意見と自分の考えをつなげた発言も見られるが、まだまだ数が少ない。国語の授業内にとどまらず、楽しみながら、多くの意見とつながる姿を目指してこれからも取り組んでいきたい。

○本単元について（成果・課題）

学習の見通しをもつための学習計画

成果：児童たち自身が、学ぶ道筋を明確に共有できていること。そのため、ゴールに向かって毎時間の課題をしっかりと捉えながら学習を進めることができた。

課題：必要感のある学習課題になっているか。子どもの学習意欲が向上するような学習課題を子どもたちとつくることを目指したい。

細かな言葉に着目できる言葉かけ

成果：文章の細かい表現にも気を付けて読む姿勢を養うことができた。登場人物の気持ちを考える際にも、言葉に着目して考える姿が見られた。

課題：児童の語彙力の向上が挙げられる。学習の中でも、言葉の意味やニュアンスへの理解が浅かったように感じた。物語を深く読み取るためにも、児童の言葉の力を向上させたい。

